

# 目 次

## 【総 論】

I 宮城県麦類・大豆生産振興基本方針	
1 宮城県の麦類、大豆生産振興の基本方向	1
2 作物別の推進事項及び目標	2
1) 小 麦	2
(1) 生産の現状	2
(2) 生産の課題	2
(3) 生産の目標	3
(4) 流通販売対策	6
(5) 消費拡大対策	7
2) 大 麦	7
(1) 生産の現状	7
(2) 生産の課題	8
(3) 生産の目標	9
(4) 流通販売対策	10
3) 大 豆	11
(1) 生産の現状	11
(2) 生産の課題	12
(3) 生産の目標	12
(4) 流通販売対策	14
(5) 消費拡大対策	16
3 経営確立に向けての課題と目標	17
4 推進体制	20
II 麦・大豆に係わる新たな制度の概要	
《麦 類》	
1 新たな麦政策大綱	23
2 麦の民間流通の仕組み	24
3 麦作経営安定資金	26
4 農業共済制度	29
《大 豆》	
1 新たな大豆政策大綱	31
2 新たな交付金制度	32

3	大豆作経営安定対策	33
4	農業共済制度	36
Ⅲ 加工用途別品質レベル（麦類実需者ニーズ）		
《麦類》		
1	大麦	39
1)	食用小粒大麦（全国精麦工業協同組合連合会，株式会社はくばく）	39
2	小麦	41
1)	要望される小麦品質（東北製粉協会）	43
2)	醤油醸造適性（財団法人 日本醤油検査協会）	46
【栽培基本技術】		
Ⅰ 麦類・大豆共通技術編		
1	ほ場条件の整備	49
1)	排水対策	49
2)	砕土率の向上と深耕	52
3)	土づくり	53
2	種子更新の意義と現状	55
Ⅱ 麦類編		
麦類栽培暦		
1	種子の準備	58
1)	適品種の選定	58
2)	種子更新	58
3)	選種	58
4)	種子消毒	59
2	播種	60
1)	播種適期	60
2)	播種様式	61
3)	播種量	61
4)	播種深度	61
3	施肥	62
1)	有機物の施用	62
2)	適正な施肥で良質多収	62
3)	窒素栄養診断に基づく麦類の追肥	64

4	生育中の管理 .....	67
1)	麦踏み(踏圧) .....	67
2)	麦踏みの時期・回数 .....	67
5	雑草防除 .....	67
1)	発生状況と被害 .....	67
2)	除草体系 .....	68
3)	除草剤使用のポイント .....	68
4)	雑草防除のあり方 .....	69
6	病虫害防除 .....	70
1)	病 害 .....	70
(1)	種子伝染性病害対策 .....	70
(2)	土壌伝染性病害対策 .....	70
(3)	空気伝染性病害対策 .....	71
2)	害 虫 .....	72
7	生育障害と対策 .....	74
1)	湿 害 .....	74
2)	寒害・霜柱害 .....	75
3)	雪 害 .....	75
4)	凍霜害 .....	75
5)	倒 伏 .....	76
8	収穫・乾燥・調製 .....	77
1)	成熟期の判定 .....	77
2)	収穫適期 .....	77
3)	収穫作業 .....	78
4)	乾 燥 .....	80
5)	調 製 .....	82
9	品質向上のための技術対策 .....	83
1)	小 麦 .....	83
(1)	たんぱく質含有量の向上 .....	83
(2)	低アミロ、穂発芽粒の回避 .....	83
2)	大 麦 .....	84
(1)	硬質粒(ガラス質粒)の回避 .....	84
(2)	空洞粒(空洞麦)の回避 .....	84
3)	小麦・大麦共通 .....	86
(1)	未熟粒の回避 .....	86
(2)	熟損粒の回避 .....	86

10	麦類奨励品種特性一覧	87
11	麦類病害写真	88
12	麦類の被害粒写真	89
Ⅲ	大豆編	
	大豆栽培暦	91
1	品種と栽培暦	91
	1) 普通大豆	91
	2) 特殊用途大豆	91
2	普通播と晩播品種と播種密度の目安	91
	1) 普通播	91
	2) 晩播栽培	91
1	種子の準備	95
	1) 適品種の選定	95
	2) 選種・種子消毒	95
2	播種	95
	1) 根粒菌の機能と接種	95
	2) 播種期	96
	3) 播種様式	97
3	施肥	99
	1) 有機物の施用	99
	2) 施肥量	99
	(1) 基肥	99
	(2) 追肥	100
4	生育中の管理	101
	1) 鳥害対策	101
	2) 中耕培土	101
5	雑草防除	103
	1) 発生状況と被害	103
	2) 耕種的な防除	104
	3) 除草体系	105
	4) 除草剤使用のポイント	105

6	病虫害防除 .....	107
1)	病 害 .....	107
2)	害 虫 .....	109
7	収穫・乾燥・調製 .....	116
1)	成熟期の判定 .....	116
2)	収穫適期 .....	116
3)	収穫作業 .....	116
4)	乾燥作業 .....	118
5)	脱粒作業 .....	120
6)	選 別 .....	120
8	品質向上のための技術対策 .....	121
	汚粒発生の回避 .....	121
9	大豆奨励品種特性一覧表 .....	123
10	大豆病虫害写真 .....	124
1)	大豆病害 .....	124
2)	大豆害虫被害 .....	125
11	大豆の被害粒写真 .....	127
<b>Ⅳ 水田高度利用編</b>		
1	輪換田における基本技術 .....	131
2	水田高度利用を目指した作付け体系 .....	133
1)	水稲・麦・大豆2年3作体系 .....	133
<b>【麦・大豆関係資料】</b>		
<b>I 麦類・大豆生産振興に関する諸制度</b>		
1	農業生産総合対策事業（国庫） .....	141
2	水田農業経営確立対策の概要 .....	143
1)	地域における水田農業振興 .....	143
2)	水田における麦・大豆・飼料作物等の本格的生産 .....	144
3)	経営確立助成 .....	145
4)	とも補償 .....	147
5)	稲作経営安定対策 .....	148
3	水田麦・大豆等生産性向上支援事業（県単） .....	149

4 転作営農条件整備事業（県単）	150
<b>II 麦類・大豆生産に係わる条件整備</b>	
1 ほ場整備	151
1) 本県のほ場整備の状況	151
2) 管内別の整備状況	151
3) 今後の目標	152
2 大型作業機械及び乾燥調製施設	153
1) 現状	153
2) 将来目標	153
<b>III 生産コスト低減へ向けた経営シュミレーション</b>	
1 麦類	155
1) 生産コストの現状	155
2) コスト低減に向けた体制整備（シュミレーション）	158
2 大豆	163
1) 生産コストの現状	163
2) コスト低減に向けた体制整備（シュミレーション）	164
<b>IV 県内の麦作・大豆作優良事例</b>	
1 麦類	167
高木・水沼地区水田農業生産組合（石巻市）	167
2 大豆	173
下高倉集団転作組合（角田市）	173
(南)おっとちグリーンステーション（米山町）	176
<b>V 統計資料</b>	
1 宮城県の麦作の状況	181
1) 年次別作付面積，単収，収穫量	181
2) 田畑別作付面積と収量の推移	182
3) 平成11年産作付面積と収穫量	184
4) 市町村別作付面積と単収の推移	186
5) 主要品種の年次別作付動向	190
2 宮城県の大豆作の状況	192
1) 年次別作付面積，単収，収穫量	192
2) 田畑別作付面積と収量の推移	193
3) 平成11年産作付面積と収穫量	194

4) 市町村別作付面積と単収の推移 .....	195
5) 主要品種の年次別作付動向 .....	197